

会員総会資料 2023年度 A SEED JAPAN 事業報告(案)

資料1

2023年度概要

・ミッション

持続可能で公正な社会をつくるため、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会・経済システムを変えていきます。

1.環境問題を経済や社会構造そのものから見据えていきます

私たちは、環境問題や南北問題が進行している原因は経済や社会の構造そのものにあると考え、その根本にある原因を見据えて行動します。

2.青年の立場から環境問題をわかりやすく伝えていきます

私たちは、環境問題や社会的不公正について、またそれらの問題と私たちのライフスタイルが密接につながっていることを、青年をはじめとする多くの人々にわかりやすく伝えていきます。

3.長期的視野を持って社会を変えていきます

私たちは、地球の未来を危惧するメッセージを継続的に発信していきます。そして、長期的な視野を持ち、現在の社会システムを変えていくための提案と行動を起こしていきます。

・理事会より

2023年度は有給スタッフが鈴嶋一人体制となり、事務局業務のうち昨年まで小川氏が担っていた総務部分は、理事3名(三本、大坂、濱田)で分担し行いました。2つの助成金事業は、鈴嶋(パタゴニア)、大坂(地球環境基金)が中心となり行いました。鈴嶋は週2日、リモート勤務を基本とし、助成金対応、オリエン、広報や渉外などの業務を担当しながら、ESGウォッチプロジェクトの活動推進も業務として担いました。大村はESGウォッチプロジェクトによる資産運用会社の取り組みのスコアリング調査やプロジェクトメンバーへの金融知識の共有を担いました。

活動メンバー募集のオリエンテーション、インターン募集も積極的に行い、学生メンバー獲得に注力しました。ESGウォッチプロジェクトにおいては、資産運用会社の調査や有識者インタビュー、WEBサイト作成、ブース出展を行い、日本だけでなく海外の団体とのつながりもでき、対外的な活動が活性化しました。またミーティングだけでなく現場体験ツアー、合宿など対面で会う機会を増やし、メンバー同士の交流の機会も増やすことで、コミュニケーションも円滑になり活動の推進につながりました。

経営面では、理事会全体として助成金事業に注力し、ESGウォッチプロジェクトの活動の推進に取り組み、2024年4月には久しぶりの学生理事が就任する予定です。2023年度は2021年からの3か年計画の重点項目に注力し成果を残した1年でした。2024年度は新たなメンバーとともにこの先のビジョンの検討を始めたいと思います。目指す社会変革のために会員の皆さんとともにA SEED JAPANのこれからの姿を描き、前進していきたいと思っています。

・役員／事務局スタッフ・ボランティア

役員

名前	役職	担当
大坂 紫	理事	組織基盤(*)
大村 哲史	理事	人財
鈴嶋 克太	理事・事務局スタッフ	ESGウォッチプロジェクト
濱田 恒太郎	代表理事	全体統括、組織基盤(*)
三本 裕子	理事	組織基盤(*)

(*)事業以外の組織運営に必要なことを組織基盤と表現し担っています。

事務局スタッフ・ボランティア

名前	役職	担当
鈴嶋 克太	プロジェクトスタッフ	事業
富田 一	委託	会計
長峰 友子	ボランティアスタッフ	広報・Web
浦山 裕史	ボランティアスタッフ	広報・Web

活動報告

年間の活動

2023年度は、イベント開催だけでなく、他団体のイベントへのブース出展やミーティングへの参加など積極的に対外的な関係性構築にも注力した一年となりました。

月	内容
4月	・【NGO共同声明】「石炭火力発電のバイオマス混焼および専焼化はグリーンウォッシュ～気候変動を加速させ、森林生態系を破壊する」賛同 (ESGウォッチプロジェクト)
5月	
6月	・会員総会
7月	・内部勉強会 / 有識者インタビュー「気候変動への取り組みとエネルギーの活用の実際」(講師:産業技術総合研究所 歌川学 氏)(ESGウォッチプロジェクト) ・Social Justiceダイアログ「『豊かさ』とは何か？」開催(事務局)

	<ul style="list-style-type: none"> ・内部勉強会 / 有識者インタビュー「日本の石炭火力政策の現状」(講師:認定NPO法人 気候ネットワーク 東京事務局長 桃井貴子 氏)(ESGウォッチプロジェクト) ・NGOヒアリング(ヒアリング先:米国NGO As You Sow)(ESGウォッチプロジェクト)
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・インターン受け入れ(主催:ドットジェイピー)(事務局) ・ヒアリング(ヒアリング先:JACSES「持続可能な開発と援助プログラム(SDAP)」プログラムコーディネーター 田辺有輝 氏)(ESGウォッチプロジェクト) ・内部勉強会 / 有識者インタビュー「生物多様性とESG投資」(講師:株式会社 レスポンスアビリティ代表取締役 足立直樹 氏)(ESGウォッチプロジェクト)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・内部勉強会 / 有識者インタビュー「Fair Finance School “ASJと金融”のキホン~エコ貯金プロジェクトから学ぶもの~」(講師:A SEED JAPAN 理事 大村哲史 氏)(ESGウォッチプロジェクト) ・ワタシノミライ「No Nukes & No Fossil 再エネ100%と公正な社会を目指して」ブース出展(ESGウォッチプロジェクト)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・連続セミナー 第1回「『気候変動対策・脱炭素への貢献』それ、『グリーンウォッシュ』かも?~バイオマス発電を例に」開催(講師:一般財団法人 地球・人間環境フォーラム 飯沼佐代子 氏)(ESGウォッチプロジェクト)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・連続セミナー 第2回「資産運用会社が企業に与える影響力とは?~気候変動関連株主提案と投資家の議決権行」開催(講師:気候ネットワーク東京事務所 鈴木康子 氏)(ESGウォッチプロジェクト)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング(ヒアリング先:JACSES「持続可能な開発と援助プログラム(SDAP)」プログラムコーディネーター 田辺有輝 氏)(ESGウォッチプロジェクト)
2024年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・足温ネット 現場体験ツアー(訪問先:NPO法人 足元から地球温暖化を考える市民ネット えどがわ)(ESGウォッチプロジェクト)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ESGウォッチプロジェクトWebサイト開設
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・新時代アジアピースアカデミー「環境運動のパブリックヒストリーPart5 - 地球のいのちを守り、私たちの暮らしをつくる経験から学ぶ」登壇(鈴嶋・三本) ・連続セミナー第3回「資産運用会社の気候変動取り組みをどう評価するか~FinanceMapレポート『アセットマネージャーと気候変動』から考える」開催(講師:InfluenceMap, Analyst, Japan Investor Engagement Lead 細井レイナ 氏、InfluenceMap, Senior Analyst トム・アルコラン 氏)(ESGウォッチプロジェクト) ・ESGウォッチ活動報告会「資産運用会社の気候変動への取り組み調査 結果発表」(開催)(ゲスト登壇者:JACSES「持続可能な開発と援助プログラム(SDAP)」プログラムコーディネーター 田辺有輝 氏)(ESGウォッチプロジェクト) ・【プレスリリース】「日本の資産運用会社16社の気候変動への取り組みランキング発表」(ESGウォッチプロジェクト) <p>※調査対象となった資産運用会社の内3社と対話を実施(内1社とは双方の都合により、実施が4月にずれ込んだ)。</p>

ESGウォッチプロジェクト

活動概要

ESGウォッシュが起こっている社会構造が改善され、私たち(市民・個人投資家)一人ひとりが、真にESGにかなう投資を行うことができることを目指して活動する。

2023年度Objective: プロジェクトの目標

1. 【対市民】一人ひとりがESGウォッシュを見抜くための知識を持っている
2. 【対金融セクター】ESGウォッシュが疑われる投資信託を運用する資産運用会社の運用が改善される

2023年度Key Results: 達成指標と評価

指標	評価
<p>1.【対市民】 事業計画</p> <p>i) 勉強会(主催・共催・ゲスト参加問わない)を実施する。</p> <p>i)-1 ESGについての理解と大規模輸入木質バイオマス発電に関する政策、企業活動についての理解を深めるための勉強会を実施する(3回)。</p> <p>i)-2 年度の後半に、1年間の活動の総括セミナー(勉強会)を実施する。</p> <p>i)-3 他団体主催の活動紹介イベント、勉強会に共催・参加する。</p> <p>ii) 2022年度に引き続き、インフォメーションシート策定過程において「若者のESGウォッシュに対する意識調査」を実施する</p> <p>ii)-1 「意識調査」を勉強会やイベント参加者、協力する他団体(国内・海外)や加盟するNGOネットワーク経由でより多くの回答を集め、結果をまとめ、公表する(具体的取り組みはiiiを参照)。</p> <p>ii)-2 海外における類似の意識調査を探し、研究する。類似の物が無ければ、「若者のESGウォッシュに対する意識調査」を英訳して、海外の若者に対しても実施する。</p> <p>iii) ESGウォッシュの現状と具体例をまとめた「インフォメーションシート(バージョン1)」、ESGウォッシュを防ぐための心構え「ESGウォッチ宣言(バージョン1)」、「若者のESGウォッシュに対する意識調査」の結果を短くまとめた「アクション・ガイド」を作成し、「ESGウォッチ宣言(バージョン1)」をウェブサイトやSNSで拡散する。拡散のための取り組みとして以下を実施</p> <p>iii)-1 ESGウォッチの特設キャンペーンサイトを開設・運営する。</p> <p>iii)-2 キャンペーンサイトに記事を投稿する「ESGウォッチライター」を育成する。</p> <p>iii)-3 計4回(前述)の勉強会を開催する。</p> <p>iii)-4 Instagramの投稿を月2回行う。</p> <p>※「アクション・ガイド」は、ESGウォッシュの問題を認識し、見抜き回避し、無くすための具体的行動を促すものとする。</p>	<p>i)-1 10月から3月にかけてテーマを「輸入木質バイオマス発電」から「気候変動」に広げて、勉強会(連続セミナー)を3回実施した。</p> <p>i)-2 3月27日に、総括セミナー(活動報告会)を実施した。</p> <p>i)-3 他団体主催のイベント・勉強会には共催・参加できなかった。</p> <p>ii)若者のESGウォッシュに対する意識調査」は2023年度は15人集めた。</p> <p>ii)-1 未実施</p> <p>ii)-2 未実施</p> <p>iii) アクション・ガイドは未完成</p> <p>iii)-1 ESGウォッチ特設サイトは開設した。</p> <p>iii)-2 ESGウォッチライターを募り、特設サイト状にブログ記事を投稿した。 URL: https://www.aseed.org/esgwatch/</p> <p>iii)-3 達成した。</p> <p>iii)-4 Instagramの投稿は8回しかできなかった。</p>

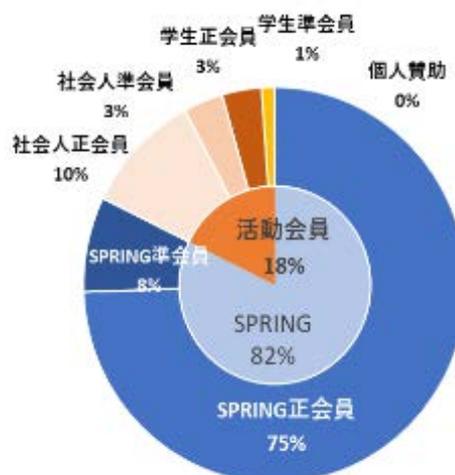
<p>アウトプット</p> <p>i) 全ての勉強会・イベント参加者が、ESGの重要性やその原則についての理解、バイオマス発電事業に関する政策・企業活動についての理解を深める(アンケートにより計測)。</p> <p>ii) 2022年度分と合わせて「若者のESGウォッシュに対する意識調査」の回答者数1,000人を集める。</p> <p>iii) 「アクション・ガイド」を作成し、宣言の賛同者400人(内訳は下記)を集める。</p> <p>iii)-1 公式ウェブサイト及びESGウォッチ特設サイト経由で、150人が賛同する。</p> <p>iii)-2 「ESGウォッチライター」を5人育成し、ライター経由で100人が賛同する。</p> <p>iii)-3 勉強会や活動紹介イベントなど(主催・共催問わない)の参加者年間累計100人を目指す。勉強会参加者の内50人が賛同する。</p> <p>iii)-4 Instagramフォロワーを200人に増やし、100人が賛同する。</p>	<p>i) 勉強会・イベント参加者のアンケート回答率が悪かったため、集計できていない。</p> <p>ii) 意識調査の回答を集める活動を大々的に展開できなかった。</p> <p>iii) アクション・ガイドは未作成。ESGウォッチ宣言を集める活動が大々的に展開できておらず、22人しか集められていない。</p>
<p>2.【対金融】</p> <p>事業計画</p> <p>i) 「インフォメーションシート(バージョン1)」「ESGウォッチ宣言(バージョン1)」「若者のESGウォッシュに対する意識調査」「アクション・ガイド」について、プレスリリースで発信する(年2回)</p> <p>ii) ターゲットにする投資信託の運用会社に「インフォメーションシート(バージョン1)」「若者のESGウォッシュに対する意識調査」と公開質問状を送り、ESGウォッシュ全般や大規模輸入木質バイオマス発電事業に関する情報提供・対話を実施する</p> <p>※2023年度は以下の3つの投資信託をターゲットにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野村アセットマネジメント「脱炭素ジャパン」 ・東京海上アセットマネジメント「再生可能エネルギー・インカム戦略ファンド」 ・アムンディ「環境・気候変動対策ファンド」 	<p>i) 日本の資産運用会社の気候変動への取り組みをスコアリングして、プレスリリースした。</p> <p>URL: https://aseed.org/240331_assetmanagers_climate_pressrelease</p> <p>ii) スコアリングのドラフトを、調査対象の運用会社に送り、5社とコミュニケーションを取った。内3社とは、面談を実施した。</p> <p>※2023年度、当初計画を変更して、テーマを「気候変動・脱炭素」に広げ、投資信託だけでなく、運用会社の取り組みや方針全体を調査する活動に変更して実施しました。</p>
<p>アウトプット</p> <p>i) プレスリリースした内容がメディアに掲載される。</p> <p>ii) 最低1つの運用会社がESGウォッシュ全般や大規模輸入木質バイオマス発電事業についての見解・方針・投資状況を明らかにし、改善の意志を示す。</p>	<p>i) プレスリリース内容は、2023年度中にメディアに掲載されなかった。</p> <p>ii) ESGウォッチプロジェクトの要請・提案内容に応じて、改善の意思を示した運用会社は、2023年度中には確認できなかった。</p>

事務局報告

・会員

2022年度と比べてSPRING会員は5人退会しました。社会人(Root)会員、学生(Tree)会員は人の入れ替わりはありましたが変わりませんでした。(2024年3月31日時点)

会員種別	会員数	2022年度からの増減数
SPRING正会員	67	-8 (75)
SPRING準会員	7	+3 (4)
社会人正会員	9	+0 (9)
社会人準会員	3	+0 (3)
学生正会員	3	+2 (1)
学生準会員	1	-2(3)
個人賛助	0	0
合計	90	-5 (95)



・マンスリーサポーター

人数	2022年度からの増減数
12人	+4人

・オリエンテーション

オリエン参加者	59人
ミーティング見学者	内 23人
ESGウォッチプロジェクトへの参加者	内 15人
新規会員	5人(学生3人、社会人2人)

・広報

メールニュースレターの配信

発行日	ニュースレタータイトル
2023年5月15日	A SEED JAPAN 3~4月の活動報告
2023年7月3日	【参加者募集/新企画のご案内】7/9(日)19:00~対話型イベント-今を生きる私たちが考える豊かさとは?-
2023年9月15日	ブース出展のお知らせ！9/18(月)「No Nukes & No Fossil 再エネ100%と公正な社会を目指して」@代々木公園に参加します！
2023年10月1日	イベント参加報告と連続セミナー(全3回)(第1回は10月7日(土)19:30-21:00)のご案内
2023年10月29日	ESGウォッチ連続セミナー 第2回のご案内
2024年1月15日	気候変動関連署名・イベントの紹介
2024年3月14日	【イベント案内】3/27(水)開催 ESGウォッチセミナー・活動報告会 他

・講師・委員派遣など

日付	内容	名前
2023年度	「脱炭素チャレンジカップ」実行委員(ユースメンバー)(主催:一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)	鈴嶋
2023年10月	地球環境パートナーシッププラザ「つな環」第42号(2023年10月)巻末「ユースの今」に寄稿	鈴嶋
2024年2月、3月	N高・S高 プロジェクト学習においてESGウォッチプロジェクトとして協働(広報媒体の検討)(主催:角川ドワンゴ学園 N高等学校)	豊田
2024年3月19日	環境運動のパブリックヒストリー(主催:一般社団法人新時代ピースアカデミー)	鈴嶋 三本

・賛同案件

日付	内容	呼びかけ団体
2023年4月11日	【NGO共同声明】石炭火力発電のバイオマス混焼および専焼化はグリーンウォッシュ 気候変動を加速させ、森林生態系を破壊する	Friends of the Earth Japan、気候ネットワーク等

2023年7月28日	ワタシのミライ NO NUKES & NO FOSSIL再エネ100%と公正な社会を目指して	ワタシのミライ、Fridays For Future Tokyo、さようなら原発1000万人アクション
2023年11月22日	地球沸騰化の危機！次期エネルギー基本計画を議論する有識者会議に若者を入れてください&気候市民会議を開催してください！	一般社団法人 日本若者協議会

・加盟団体

団体／ネットワーク名	関わり方(いずれも団体)	備考
グリーン連合	会員	https://greenrengo.jp/
認定NPO法人気候ネットワーク	賛助会員	https://www.kiconet.org/
認定NPO法人日本NPOセンター	準会員	https://www.jnpoc.ne.jp/
SDGs市民社会ネットワーク	情報会員	https://www.sdgs-japan.net/
消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク	参加団体	https://cnrc.jp/members/
Fair Finance Guide Japan	協力団体	https://fairfinance.jp/
パワーシフト・キャンペーン	賛同団体	https://power-shift.org/
eシフト	参加団体	http://e-shift.org/
G7市民社会コアリション2023	団体会員	https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/

・その他

- ・2023年7月9日に「対話イベントSocial Justiceダイアログ-今を生きる私たちが考える豊かさとは？」を実施し、メンバーの意見交換を行いました。
- ・事務局スタッフの雇用時間にフレックスタイム制度を導入しました。

会計報告

・別紙

監査報告書

・別紙

以